

活躍する像情報OB

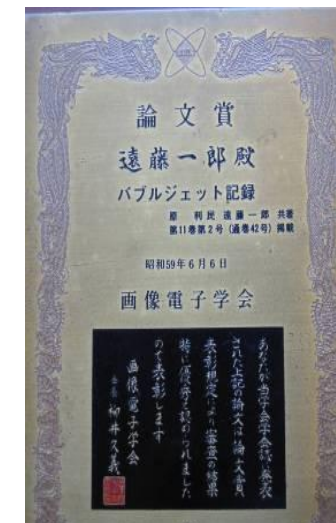
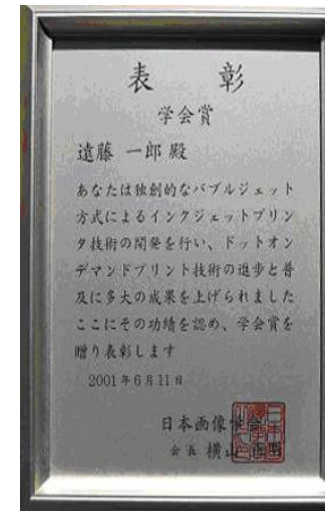
遠藤一郎 氏(Bubble Jet技術の発明)

遠藤一郎氏は世界を二分するインクジェットプリント技術の一つであるBubble Jet技術（キヤノン ㈱）の発明者として知られています。本学理工学部化学工学科卒業で、本施設の井上英一研究室で卒業研究を行い、卒業後、キヤノン㈱に入社、その後、同社派遣の研究生として、井上英一研究室で研鑽を積まれました。

新しいプリンター技術の開発に従事し、熱くなった半田ごてが注射器の針に触れた際、針からインクが飛び出したのを見て、新しいインクジェットの方式（Bubble Jet技術）を発明したというのは有名な話です。この発明により、画像電子学会論文賞、ヨハン・グーテンベルグ賞(SID)、コーサル記念賞（米国画像学会）、全国発明表彰恩賜発明賞（社団法人発明協会）、エドウィン・H・ランド・メダル（米国画像学会）、学会賞（日本画像学会）などの数々の賞を受賞されています。

略歴

1964年3月	東京工業大学理工学部化学工学科卒業
1964年4月	キヤノンカメラ ㈱（現キヤノン㈱）
1973年3月	中央研究所21研究室主任研究員
1977年1月	製品技術研究所22研究室長
1983年1月	中央研究所機能材料研究部長
1983年～1985年	バブルジェット開発タスクチーフ&アモルファスシコンセンサー開発タスクチーフ
1985年1月	中央研究所副所長
1987年1月	中央研究所所長
1989年3月	取締役 研究開発本部長
1995年4月	常務取締役 映像事務機事業本部長
1999年3月	専務取締役 商品開発本部長
1999年7月	専務取締役 テクノロジー・製品開発担当プラットフォーム開発本部長 兼ディスプレイ発本部長
2001年1月	専務取締役 テクノロジー・製品開発担当 テクノロジー統括本部長 兼ディスプレイ開発本部長
2004年3月	退任



活躍する像情報OB

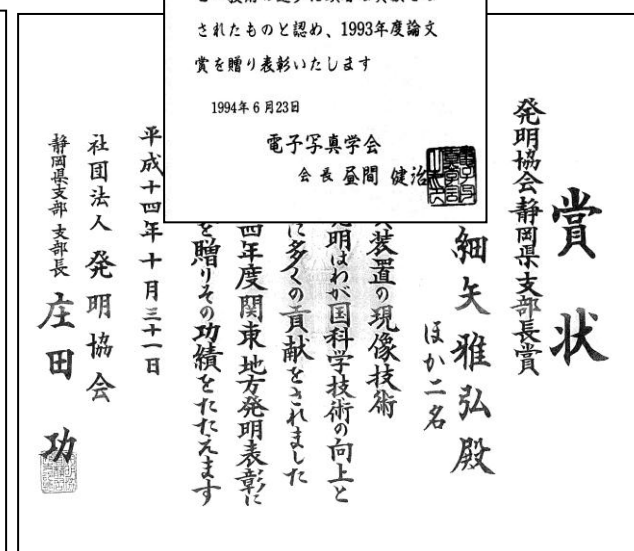
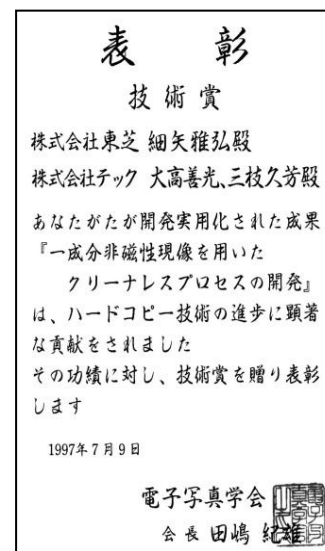
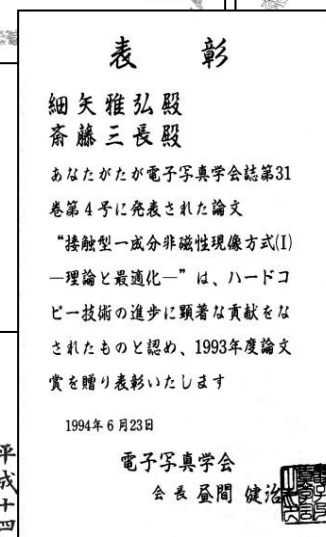
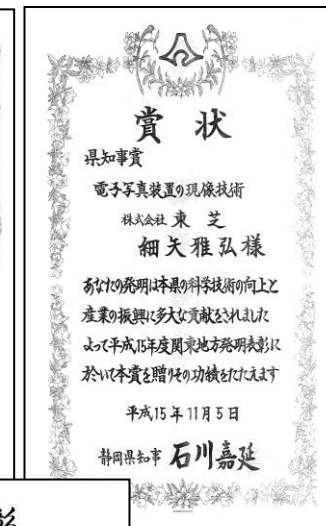
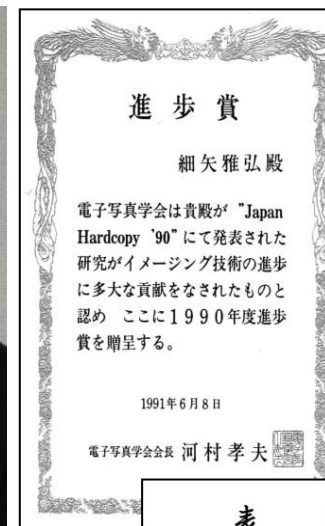
細矢雅弘氏(電子写真の新プロセス技術の発明)

細矢雅弘氏は、小門研究室の出身で、修士課程終了後、(株) 東芝に入社、レーザプリンタや複写機に用いられるもちられる電子写真の新しい現像プロセスについて研究を行い、感光体に付着した残留トナーのクリーニングを必要としない新しい現像プロセスの開発や高画質化のための液体現像剤を用いた新しい現像プロセスの開発した。

これらの業績に対して、電子写真学会（現、日本画像学会）「進歩賞」、「論文賞」、「技術賞」を、また、発明協会支部長賞受賞、同県知事賞受賞、さらに、米国画像学会（IS&T）より、電子写真の発明者であるChester F. Carlsonの名を冠した「Chester F. Carlson賞」などの数々の賞を受賞されています。

略歴

1979年	東京工業大学大学院 総合理工学研究科 物理情報工学専攻 修士課程修了
1981年	東京芝浦電気株式会社入社 機器事業部にて電子写真プロセスの開発に従事
1988年	総合研究所にて一成分非磁性現像とこれを用いた電子写真技術の開発に着手
1991～1993年	米国マサチューセッツ工科大学物理学部客員研究員としてフラーレンの光導電性を研究
1992年	弾性現像ローラによる接触一成分非磁性現像技術を製品化
1994年	一成分非磁性現像を用いたクリーナレスレーザプリンタを製品化
1997年	微粒子液体トナーによる高速・高画質カラー電子写真技術の開発に着手
1998年	一成分非磁性現像技術とクリーナレス技術のライセンス供与を開始
1999年	東芝研究開発センターにて「液体トナー電子写真プロジェクト」スタート 同プロジェクトリーダー
2002年	事業開発室にて「液体トナー電子写真事業開発プロジェクト」スタート 同プロジェクトリーダー
現在	(株)東芝 研究開発センター 技監 (Senior Fellow)



藤澤利正 氏(半導体量子ドットの量子制御)

藤澤利正氏は柊元研究室の出身で、博士課程終了後、日本電信電話株式会社に入社、NTT物性科学基礎研究所において、独自に開発した高速電気パルス法を駆使して、半導体量子ドット中の単一電子量子状態の動特性を解明した。特に、軌道およびスピン緩和過程における選択則を明らかにし、結合量子ドットを用いた半導体電荷量子ビットを実現した。

これらの成果によって、半導体ナノ構造における量子現象の制御に関する研究を大きく進展させ、量子情報処理デバイスへの応用に新たな展望を切り開いた。このような業績に対して、藤澤氏は日本学術振興会賞、サー・マーティン・ウッド賞などの数々の賞を受賞されています。

略歴

- | | |
|-------|---|
| 1986年 | 東京工業大学 大学院 総合理工学研究科 物理情報工学専攻 入学 |
| 1989年 | 日本学術振興会特別研究員 |
| 1991年 | 東京工業大学 大学院 総合理工学研究科
物理情報工学専攻 博士課程修了 |
| 1991年 | 日本電信電話株式会社基礎研究所 |
| 1997年 | デルフト工科大学客員研究員（～98年） |
| 2001年 | 日本電信電話株式会社NTT物性科学基礎研究所 特別研究員
（現在に至る） |
| 2003年 | 東京工業大学 大学院理工学研究科 客員助教授（現在に至る） |

